

友史会 2026 年 4 月例会

「箸墓古墳の次は？ ～大型古墳を巡る(その1)～」

2026 年 4 月 19 日(日)

案内：青柳 泰介 学芸課長

行程：JR 巻向駅集合→茅原大墓古墳→弁天社古墳→山ノ神遺跡→大神神社
→志貴御懸坐神社→城島遺跡(佛教傳來之地碑)→欽明天皇宮伝承地碑
→慈恩寺→脇本遺跡(春日神社)→桜井茶臼山古墳→等彌神社→メスリ山古墳
→コロコロ山古墳→谷首古墳→桜井駅 (約 18 km)

感想文「4 月例会だより」

昨年の 9 月 21 日(日)に、奈良県立橿原考古学研究所友史会創立 70 周年記念公開行事 遺跡巡り「オオヤマト古墳群を巡る～纏向遺跡から黒塚古墳へ～」で JR 万葉まほろば線巻向駅近くの広場で集合しました。今日、4 月 19 日も同じ巻向駅前で集合しました。それは、今日の例会は第二弾としての企画である為でした。昨年は 334 人の参加で、今日は 178 人が参加されました。

学芸課長青柳先生のご案内でスタートし、茅原大墓古墳で説明を受けました。さらに南進した所の小さな神社にある弁天社古墳は、封土を失っており、横穴式石室の隙間から内部を覗くことができました。

三輪山へ向かって進むと閑静な道となり狭井川を渡って行くと山ノ神遺跡がありました。一つ岩の磐座が鎮座していました。静かな雰囲気で結界のしめ縄が取り囲んでいました。大神神社へ向う途中に狭井神社への分岐点があり、一部の方はお参りに行かれました。気候は過ごしやすい頃となり、大神神社着いた時はうっすらと汗をかいていました。境内の大きな木の下で青柳先生と早く到着した会員の方は陰を利用して涼みました。境内奥の道を行き志貴御懸坐神社に至りご説明の後、昼食となりました。食後に金谷の石仏の覆屋横を通過しました。この覆屋の下には石棺石材が二点ありました。大和川沿いには仏教傳來之地碑があり馬井出橋を渡る時、河川敷に可愛い飾り馬を見る事が出来ました。

近鉄大和朝倉駅では数人が離脱・参加されました。桜井茶臼山古墳の墳頂に登ると木々の隙間から箸墓古墳が小さく望むことが出来ました。後円部の裾部の竹林には筍が目を出しており思わず掘りたくなりました。次の等彌神社は神武天皇にまつわる聖地で、背後の山(鳥見山)は「カムナビ」と考えられています。参加されている会員の皆さんとの会話では東京・名古屋・岐阜・京都から来られている方もおり、宿泊も伴い参加しているとの事でした。メスリ山古墳の前方部の形状は柄鏡形で、方形壇があり周辺には日本最大の円筒埴輪列が複数あり竪穴石室は主室と副室があると説明を受けました。西に向かい進むとコロコロ山古墳の移築古墳がありました。大型の石材を使った石室で天井はコンクリートで

架構されていました。次に谷首古墳を拝観しました。7世紀代で全長 13.8mの横穴式石室を主体部とする方墳、羨道部は崩壊しているのが狭くなっていますが、注意して石室に入ると今日はここまで歩いてきてよかったと感動しました。超大型の石材を使ったものでした。石室内は物静かで涼やかな気持ちになりました。

あとは、一路近鉄桜井駅に向かって歩き、途中には若櫻神社ありました。今日は前期・中期・後期古墳を拝観することができ、貴重な一日となりました。青柳先生、いつも丁寧で具体的な詳しいご説明を頂きありがとうございました。

大阪市 松本 和英

記録写真



茅原大墓古墳で説明



纏向を歩く



大神神社本殿前



大神神社境内で説明



志貴御懸坐神社



佛教傳來之地碑



欽明天皇宮伝承地碑



桜井茶臼山古墳への道